

Title	福沢書翰の新資料二通(明治十六年四月二十日付,和田義郎宛および年未詳一月二十三日付,和田義郎夫人宛)
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1968
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.41, No.1 (1968. 6) ,p.64- 64
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	余白録
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19680600-0068

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

福沢書翰の新資料二通（明治十六年四月二十日付、和

田義郎宛および年未詳一月二十三日付、和田義郎夫人

宛）

慶応義塾幼稚舎の創立者和田義郎に宛てた福沢諭吉の書翰は

『福沢諭吉全集』に、第十七卷に二通、十八卷に五通、二十一

卷に一通、計八通が収載されている。そして、その第十八卷所

収のものうちの三通を除き、五通までが右の全集において新

たに紹介されたのであつた。

しかるに、このたび、さらに和田および和田夫人宛の新資料

の福沢書翰各一通が、まだ幼稚舎にあつたことがわかつた。す

なわち、ここに披露するものがそれで、実は塾監局参与羽柴榮

一氏が幼稚舎でうつしてこられたという写真を見せられて、は

じめて知つた次第である。本年（昭和四十二年）三月一日のこ

とであつた。

左に、その全文をかかげるが、前者は福沢が明治十六年四月

に「慶応義塾紀事」を執筆した際の資料として調査を依頼した

ものと考えられ、後者は和田夫人を歌舞伎座へ招いた手紙で、

発信年がいまのところ詳らかでない。（会田倉吉）

幼稚舎創立以来明治十五年十二月中まで入舎の惣数幾名ニ相

成候哉一寸御取調奉願候以上

四月二十日

諭吉

和田様

几下

其後ハ御無音のみ申訳なき次第御免可被下候左様御座候得は

今日ハ木挽町かぶき座の芝居へ参候積りニ付而は若し御差支

も無御座候ハ、御供仕度茶屋ハ越前屋ニ而午前十一時半まで

ニ御出相成候得ハ間ニ合可申私共も其時刻ニ参候間先方ニ而

御目ニ掛り可申何卒御繰合御出之程奉願候右用事ばかり申上

度阿らく以上

一月廿三日

ふく沢

和田様

御奥